

## 第3回 府中市スポーツ振興推進計画及びスポーツ施設検討協議会 会議録

日 時 :平成22年11月12日(金) 午後6時30分から午後8時30分まで

場 所 :府中市民陸上競技場審判室

出席者:森川会長、阿保副会長、植松委員、小島委員、小谷委員、島中委員、下條委員  
千葉委員、事務局(生涯学習スポーツ課)

講 師:国際武道大学 大学院特任教授 鈴木 知幸氏

### 1. 会議次第

以下の次第で会議が進行された。

(1) 開会(会長挨拶)

(2) 指定管理者制度について

国際武道大学 大学院特任教授 鈴木 知幸氏

(3) 府中市スポーツ振興計画について

阿保副会長

(4) その他(日程調整及び諸連絡)

(5) 閉会

### 2. 指定管理者制度について

主な内容は次のとおり。

- ・行政アウトソーシングが進む理由としては、地方財政の逼迫、行政改革、公務員の専門能力の削減、「新しい公共」の進化、非営利団体の能力向上、民間事業者の能力向上などがある。
- ・指定管理者制度導入にあたり、出資法人の処遇や地元企業への配慮が争点になる。また、おおよそ導入前委託料の約20パーセント削減が目標となる。
- ・現地説明会を行い、企画提案書をもって応募する。
- ・事前準備として協定書をもってリスク分担を明確にしたり、前管理者との引継ぎを厳密に行う。
- ・入札方式による「仕様発注」からプロポーザル方式による「性能発注」となり、何をどのようにどのぐらい市民へサービスするのかは、請負先の提案による。
- ・導入されて以降には、行政、第三者、自主的なモニタリングにて履行状況を評価する必要がある。
- ・A市の選定のトラブル、B市のバスケットゴール事故、指定管理者の倒産や賃金不払いなど課題も多くてきている。
- ・期待される三大効果は、税金の効率的利用、公共ビジネスの増加、公共サービスの質の向上。

### 3. 府中市スポーツ振興計画(報告書)について

主な内容は次のとおり。

- ・平成17年3月30日に当時の府中市スポーツ振興計画策定協議会にて報告したもので、今後これを基に見直しや変更、追加などを行い府中市の現在のスポーツを取り巻く環境を把握した上で新しい「答申」をいただく。
- ・阿保副会長よりどのような考え方や経緯で報告書がまとめられたかを詳しく説明いただき、今後検討していかなくてはならない項目などを具体的に説明いただいた。
- ・前回の府中市スポーツ振興計画から数年が経っているため、最新の府中市のスポーツ環境がわかる第41回市政世論調査(平成21年度実施分)などをまとめて、今後の答申に反映させていく。

### 4. 主な意見・決定事項

決定事項は以下のとおり。

- ・指定管理者制度を導入済の他市の現状を知るため、各委員の日程と指定管理者制度を導入済の他市の担当者の日程などを踏まえて調整し、ヒアリング及び現場視察を行う。候補自治体については、森川会長にて選んでいただいた自治体とする。
- ・現場視察の日時については、阿保副会長の予定を教えていただき、それに基づいて各委員の方々の日程を調整する。
- ・引き続き各市内団体のヒアリングについては実施し、より多くの市民の生の意見を伺う。

以上